

団体名：東産直の会企業組合
代表者：吉田 洋
所在地：福島県白河市東釜子

〔ポイント〕

平成11年に旧東村（現在の白河市東地区）は、農業の振興と農業者の所得向上を目指し、地元農業者26名で「東村産直の会」を設立。6月から簡易テントでの直売活動を開始した。平成13年10月からは、村が設置した直売所「ふれあいの里」を拠点に直売活動を展開。

「東村産の新鮮でおいしい野菜や果物を“安く”販売すること」をモットーとした活動により、リピーターの利用客も増えて、近隣市町村はもとより郡山市などからの利用客や首都圏からのファンも増えている。

平成17年、白河市で公共施設の指定管理者制度が発足したことに伴い、直売所「ふれあいの里」の管理運営を「東村産直の会企業組合」として法人化して進めた。

当初26名であった会員は、平成20年5月現在93名で活動を続けている。

【活動内容】

1 農産物の生産・直売活動

作付計画の把握、安定した生産に向けた体制の確立。特に、安全・安心をモットーに栽培履歴記帳の徹底、栽培技術や適正な農薬使用・表示等の各種講習会に積極的に参加。

2 加工品の開発

地元食品製造業者との連携により、地元農産物を活用した加工品を開発。

特に特産品及び規格外品などの新商品開発へ高い意欲。

3 地域内企業・施設等での消費者との交流、食材供給

地域内の飲食店、温泉施設、病院や企業へ積極的に出向き、消費者との交流を深めて食材供給。

4 消費者との交流や食育活動

首都圏でのイベント開催、帰省者との交流会による地元農産物の販路拡大。

直売所に体験ほ場の設置、地元子供会との連携による農業体験を通じた食育活動。

5 学校給食の食材供給

地元小中学校への学校給食の食材供給。

6 経営管理能力の向上

法人化により、経営責任の明確化および自主的な活動を実践。